

# 一般社団法人国際介護人材育成事業団

## 2018年度 第2回理事会議事録

日時：2018年10月13日（土）14時00分～16時45分

会場：社会福祉法人京都南山城会 山城ぬくもりの里 「地域交流ホール」

（敬称略）

出席者：（理事）金澤 剛 福本京子 小沼正昭 江口 幸一 小國 英夫 佐藤 健二

（監事）松本 典丈 石原 温

欠席者：（理事）上野 歩

参会者：（オブザーバー）

松下 智子 細井 恵美子 大西 岩光 池尻 久美子、前川 直、宮本 信、

松下 啓子、佐藤 和夫、佐藤 高之、宮脇 昭太郎、長田 侃士、趙 鵬程

配布書類：理事会の議案書（事前配布資料）、同（当日配布資料）

### ○招集と定足数

金澤理事長より、10月5日、定款35条1項に基づき、2018年度第2回理事会を招集したこと、又、14時00分現在、理事総数の過半数以上の理事6名が出席し、定款37条1項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

又、理事会規則（（関係者の出席要請）第4条に基づき、上記のオブザーバーを理事会に出席させることを報告した。

その後、金澤理事長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。審議事項の進め方として、第1号から第3号まで議案ごとに提案、審議し、採決することを確認した。

### ○審議事項

#### 1. 第1号議案 ミャンマーからの介護技能実習生の3級合格加算金の件

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）に基づき、第1号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ 以下の提案要旨に、全員異議なく賛成、可決された。

◇実習生一人あたり 167,500円

（内訳は、日本語教育費用：112,500円、特別支援金：55,000円）

質疑では、送り出し機関、実習生の頑張りへの感謝、加算金の妥当性、相当性、実習生の実習期間（3・5年）の本人意思確認等について、意見、要望を頂いた。

#### 2. 第2号議案 ミャンマーからの第2期介護実習生の採用計画・募集について

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）の一部、P11の費用試算

(3年)の修正の上、第2号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、以下を提案要旨に追加し、全員異議なく賛成、可決された。

◇ 第2期の介護技能実習生の採用計画を27名とする。

質疑では、第2期以降の実習生の募集とコストの見通しについて、質問と要望をいただいた。

### 3. 第3号議案 介護留学～新たな外国からの介護人材の育成について

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書(事前配布資料)に基づき、第3号議案の提案要旨等を説明させ、金澤理事長より、議案補足もなされた。その後、質疑の後、議場に諮ったところ 提案要旨に、全員異議なく賛成、可決された。

質疑では、介護技能実習生は、施設介護を前提とした受入れになっているが、介護留学の活用は、その制約がなくなり、在宅介護も含めた幅広い介護人材の育成にもなる、又、政府や自治体と比べて、縛りの少ない独自の奨学金制度も研究したらどうか等の意見と要望を頂いた。

#### ○ 特別報告

中国北京に本社を置く、医護家ケアリングの趙 鵬程海外事業部長より、「中国における介護実習生事業について」のプレゼンテーションを受けて、質疑を行った。

質疑では、金澤理事長、福本副理事長より、プレゼンに至る経過と取り組み意義、10月18～20日の現地視察の報告について、補足があった、又、趙さんからは、現地での募集状況を踏まえ、従来の「出稼ぎ」から、実習生にも資格や具体的なキャリアアップを目指した、新しい変化が生じていることが報告された。

#### ○ 報告事項

議長は、以上をもって、議事審議を終了し、16時45分に閉会を宣言して散会した。

以上、相違ありません。

2018年10月13日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛

理事 福本 京子

理事 小沼 正昭

理事 江口 幸一

理事 小國 英夫

理事 佐藤 健二

監事 石原 温

監事 松本 典丈